molten®
From the Inside Out

据え置き型コンパクトリフト リーチ

取扱説明書

目　次

○注意事項・・・・・・・・・・P1
○各部名称・・・・・・・・・・P2
○設置レイアウト・・・・・・・P3
○事前調査・・・・・・・・・・P4
○事前準備・・・・・・・・・・P5
○設置方法・・・・・・・・・・P7
○手すり高さ調整方法・・・・・P11
○使用方法・・・・・・・・・・P11
○分解方法・・・・・・・・・・P12
○運搬・保管方法・・・・・・・P15
○お手入れ方法・・・・・・・・P16
○点検項目・・・・・・・・・・P16
○このようなときには・・・・・P17
○仕様・・・・・・・・・・・・P18
○保証書・・・・・・・・・・・P19

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書を確認の上、正しくお使いください。確認後は、本取扱説明書を大切に保管してください。また利用者様の身体状況や環境が変化した場合には、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談し適切な処置を受けてください。

安全上の注意 必ずお守りください

①利用者様や他の人への危害･財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⃠：してはいけない「禁止」を意味します。

(!)：必ず実行していただく「強制」を意味します。

注意事項

⚠ 警告

①本製品は車いす専用のリフトです。本来の目的以外に使用しないでください。
思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。

②本製品を改造しないでください。
破損や事故につながるおそれがあります。

③本製品には正しい向きがあります。表裏／上下逆にして使用しないでください。
思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。

④ほかの製品を組み合わせて使用しないでください。
破損や事故につながるおそれがあります。

⑤本製品は屋内専用の昇降リフトです。屋外では使用しないでください。

⑥搭乗定員は1名です。
定員を超えると故障･落下事故の原因となります。

⑦最大耐荷重は150kgまでです。車いすなども含め、総重量が150kgを超える状態では使用しないでください。
故障や落下により事故につながるおそれがあります。

⑧夜間に使用される場合は、照明器具などを用いて十分な明るさを確保してください。
落下や転倒により事故につながるおそれがあります。

⑨壁面やあがりかまちなどのすき間に注意してください。
落下やはさみ込みによる事故、家屋の破壊につながるおそれがあります。

⑩最大使用可能段差を超える場所では使用しないでください。

⑪ガタつきが発生する場所では使用しないでください。

⑫必ず介護者と一緒に使用してください。

⑬昇降時は車いすのブレーキをかけて使用してください。

⑭昇降時はペットなどが下に入り込まないよう周辺を確認して操作してください。

⑮リフトを使用後はテーブルを下げた状態にしてください。

⑯下降時はテーブルの下に手や足を入れないでください。
手や足を挟まれてケガをするおそれがあります。

⑰設置場所は平らな固い床面にしてください。

⑱テーブルの下に物などを置かないでください。

⑲昇降時には、利用者様の身体や車いすの足置きがテーブルからはみ出さないようにしてください。
また、常に利用者様や車いすの状態に注意し、昇降動作によるはさみ込みや干渉が起こらないよう注意してください。

⑳車いすの4輪がすべてテーブルの上を通るように気をつけてゆっくりと乗り込んでください。

㉑フットポンプの上に上がらないでください。

㉒フットポンプをフレームから分離して使用しないでください。

㉓テーブル上で手すりを使って立ち上がったりしないでください。
転倒･転落するおそれがあります。

㉔土や砂、雪などが走行面にある場合は、必ず清掃して使用してください。
滑って転倒･転落するおそれがあります。

㉕異音など昇降動作に異常がある場合は、使用しないでください。

㉖あがりかまちに乗り降りする場合は、テーブルとあがりかまちの高さを揃えて使用してください。
落下や転倒により事故につながるおそれがあります。

㉗車いすの足置きや転倒防止バーが走行面に接触しないように調整してください。
走行するときに引っかかり、事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

①ネジやアンカーで固定して使用しないでください。
破損や変形の原因になります。

②運搬時には物などに接触させたり、落下させないよう注意してください。
破損するおそれがあります。

③本製品の上で跳びはねたりしないでください。
破損するおそれがあります。

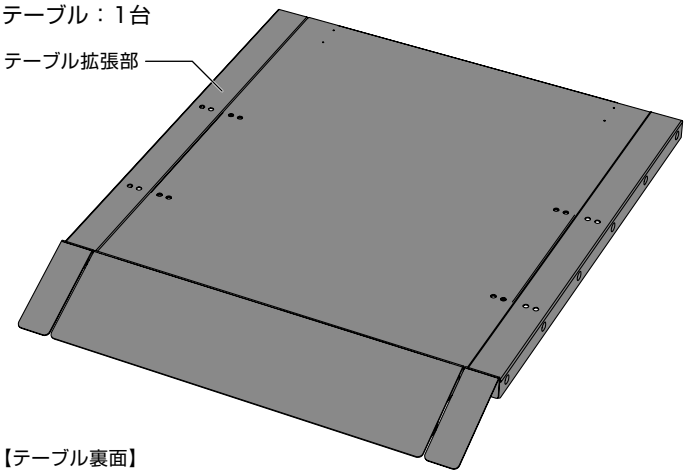
④長期間設置した場合は、床面にアジャスターの跡が残るおそれがあります。

各部名称

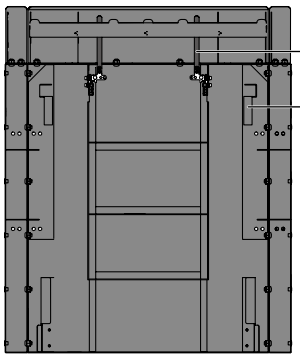
記載部品が全て揃っているか、また破損･変形などしていないか確認してください。
万が一、部品の不足･破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

リーチ本体

テーブル：1台

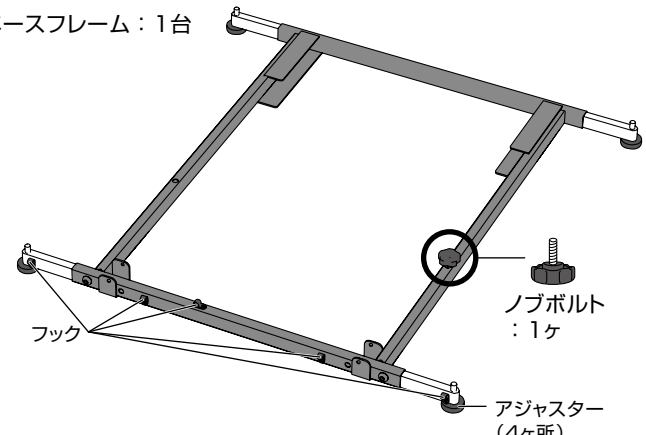


【テーブル裏面】

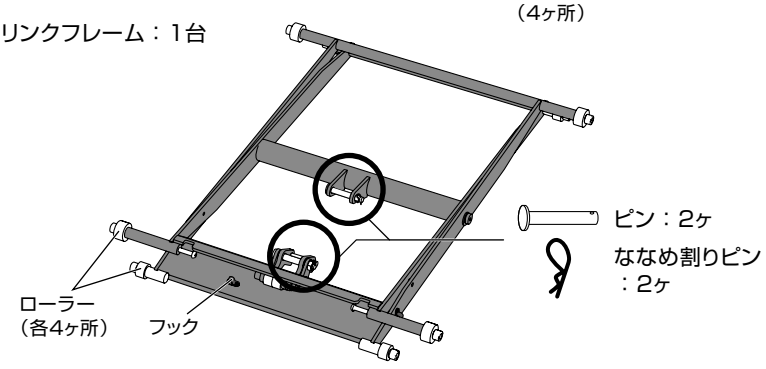


車輪止めプレート：1ヶ

ベースフレーム：1台

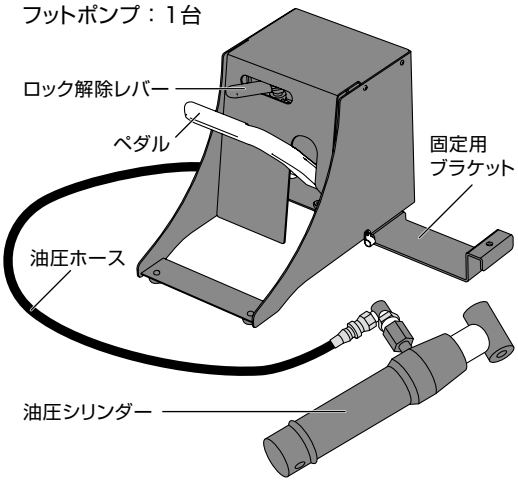


リンクフレーム：1台



フットポンプ

フットポンプ：1台

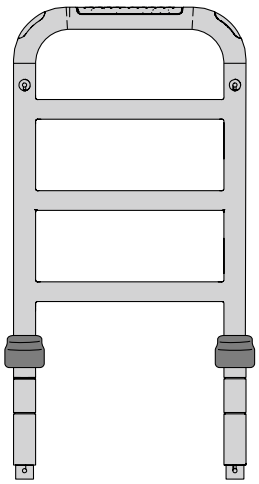


転落防止用ガード

転落防止用ガード：1ヶ

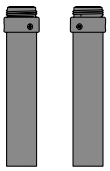
ボルト：4ヶ

手すり



手すり：1台

支柱台：2ヶ



ボルト：4ヶ

付属品

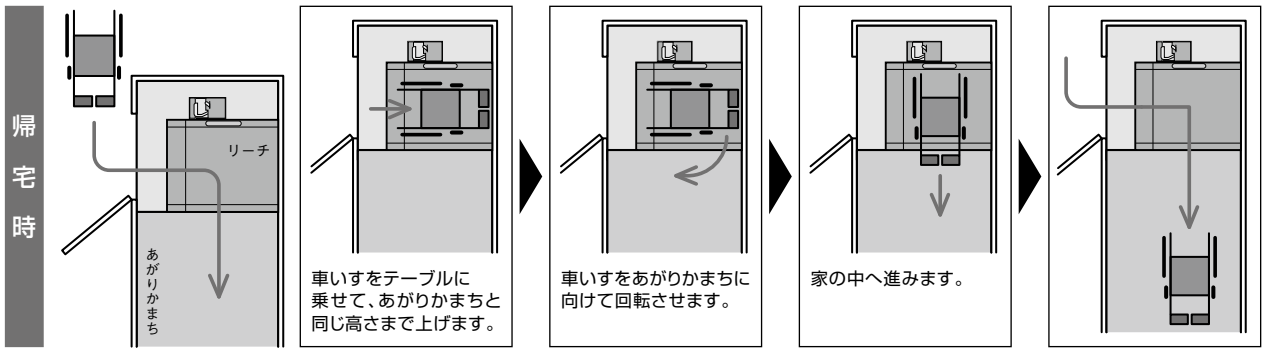
●取扱説明書：1部

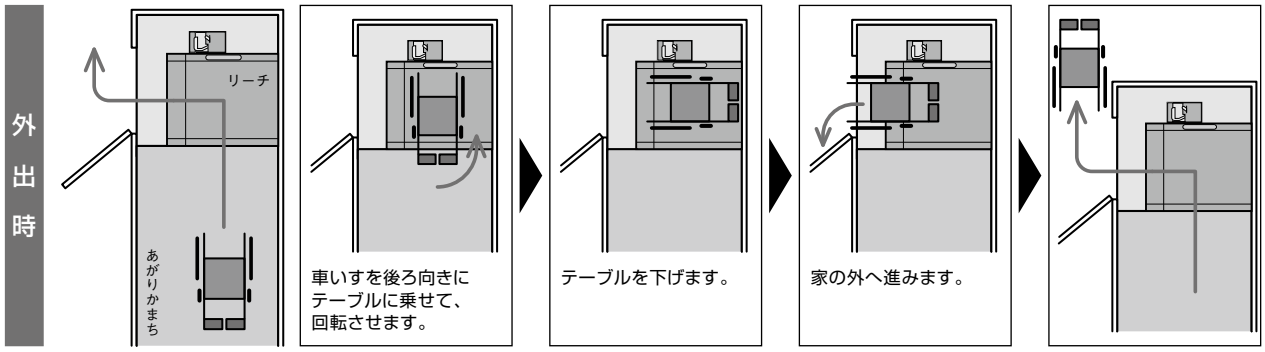
設置レイアウト

玄関とあがりかまちの位置関係からレイアウトを決めます。

●玄関ドアに対して右側や左側にあがりかまちがある場合【回転使用】

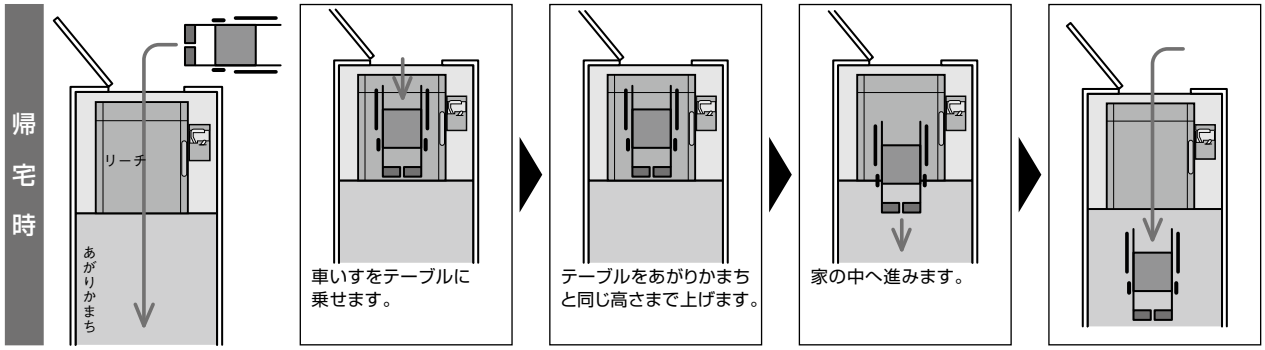
テーブル上で車いすを回転させるため、テーブル幅は最大の90cmで使用してください。

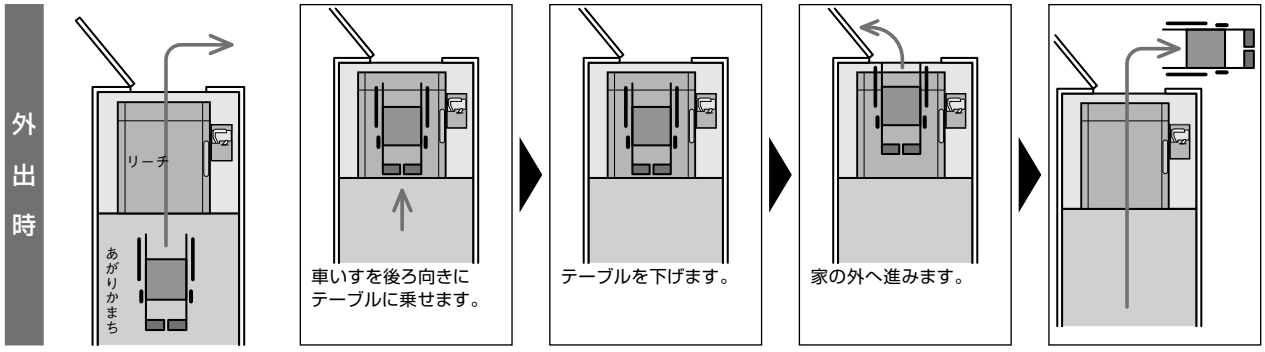




●玄関ドアの正面にあがりかまちがある場合【直進使用】

設置スペースに合わせてテーブル幅が3段階(76cm/83cm/90cm)に調整できます。





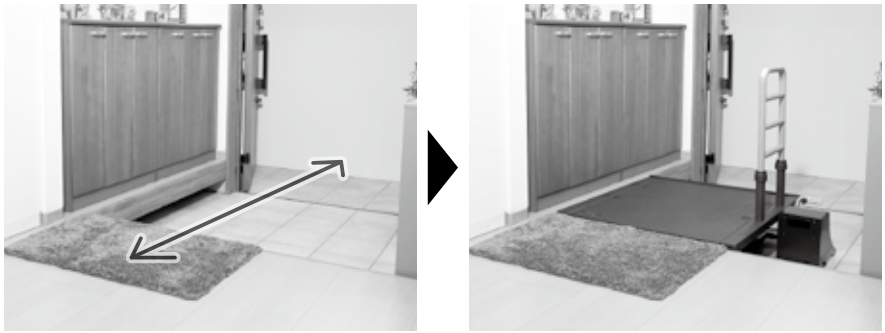
設置レイアウト

●設置例

玄関（あがりかまち）の段差

玄関ドアに対して右側か左側にあがりかまちがある場合

玄関ドアの正面にあがりかまちがある場合



動画でチェック

こちらからリーチ使用方法の動画が見られます。

事前調査

リーチを設置する前に住宅環境を調査し、レイアウトを決めます。

1 使用方向を決めます

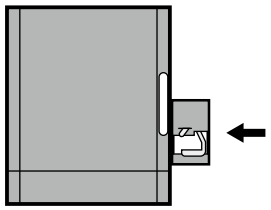
玄関ドアに対してあがりかまちがどこにありますか?

●右側（または左側）…回転使用
●正面……直進使用

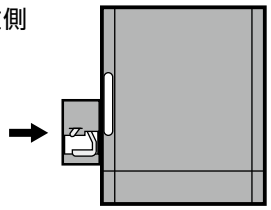
2 フットポンプの位置を決めます

リーチの左右どちら側に設置しますか?

●右側



●左側



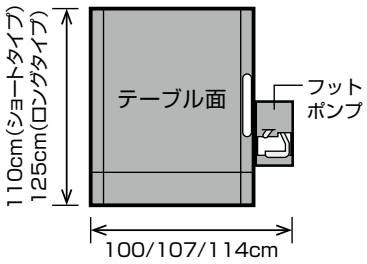
※手すりもフットポンプと同じ側に設置します。

事前調査

3 スペースを確認します

玄関のスペースに、前記で決めたレイアウトでリーチが設置できるか確認します。

※「リーチ設置シート」を活用してください。



4 テーブルの幅を決めます

●回転使用…90cm：テーブル拡張部を両方付けた状態

●直進使用…3段階で調整

※テーブルの幅は通常90cmでのご使用が基本ですが、玄関スペースにより幅狭で使うこともできます。

・90cm：テーブル拡張部を両方付けた状態

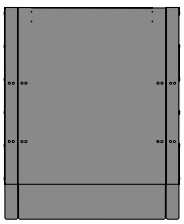
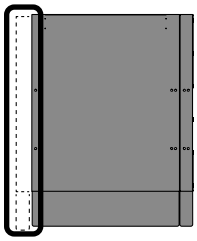
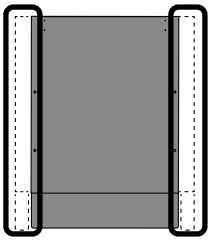
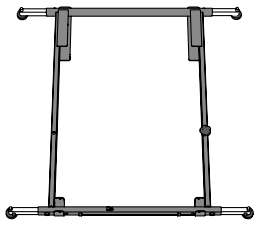
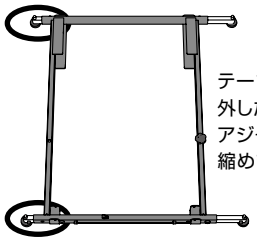
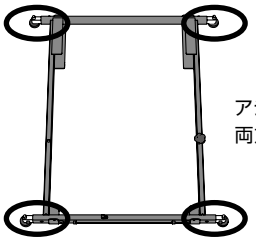
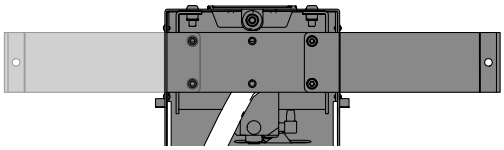
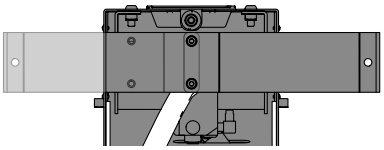
・83cm：テーブル拡張部を片方のみ付けた状態

※左右どちらを外しても、完成状態は同じです。

・76cm：テーブル拡張部を両方外した状態

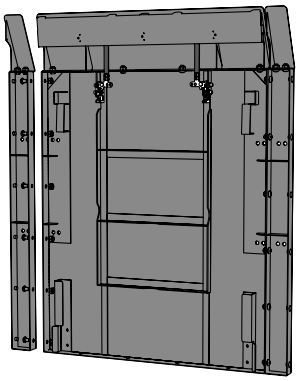
事前準備

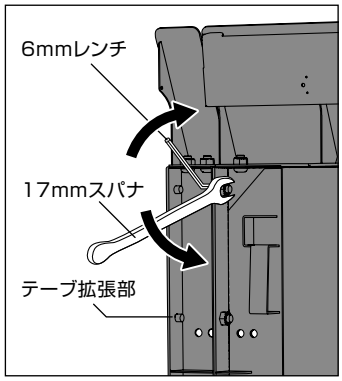
事前調査で決定した「テーブル幅」に従って、「テーブル」「ベースフレーム」「フットポンプ」を調整します。

	テーブル幅		
	90cm	83cm	76cm
テーブル		 テーブル拡張部を片方取り外します。	 テーブル拡張部を両方取り外します。
ベースフレーム		 テーブル拡張部を外した方のアジャスターを縮めます。	 アジャスターを両方縮めます。
フットポンプ	フットポンプ底面 【テーブル拡張部あり】  【テーブル拡張部なし】  フットポンプの位置、テーブル拡張部の有無に対応した位置に、固定用ブラケットを固定します。		

6mmの六角レンチと17mmのスパナが必要です。工具は付属していません。

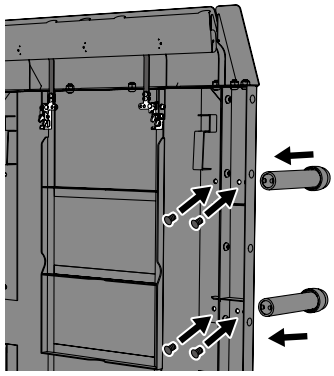
1 テーブルの準備





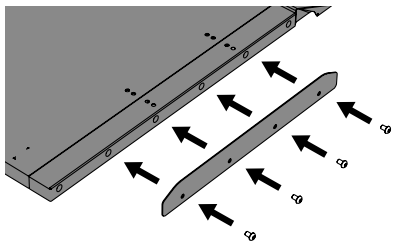
①テーブル幅を83cmまたは76cmで使用する場合は、テーブル拡張部を取り外してください。

6mmの六角レンチと17mmのスパナを使って片側6ヶ所のボルトを外してテーブル拡張部を取り外します。



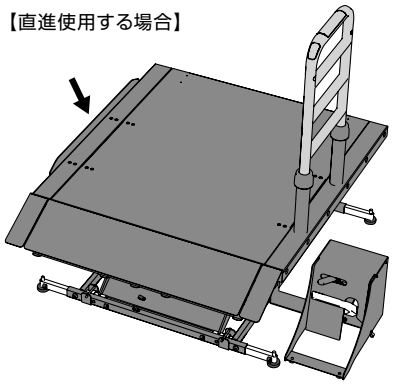
②テーブルに支柱台を取り付けます。

ⓘ フットポンプと同じ側に取り付けてください。

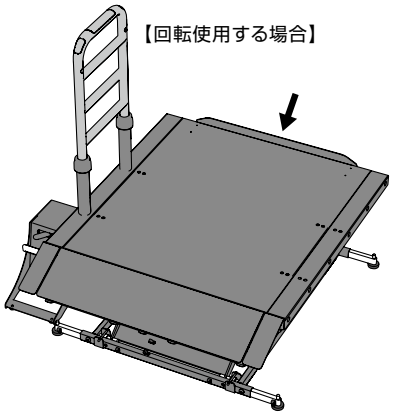


③転落防止用ガードを取り付けます。

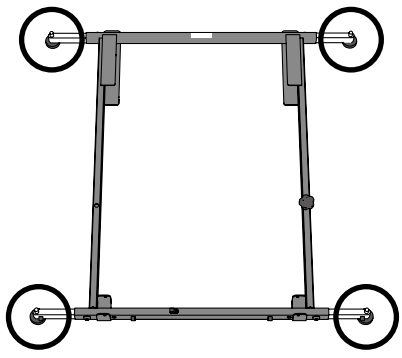
【直進使用する場合】



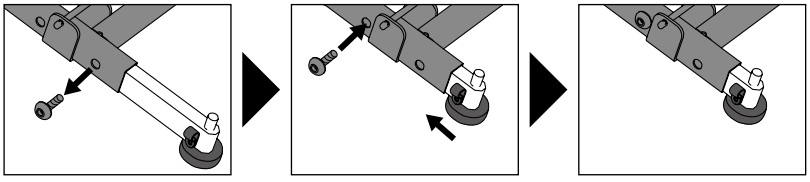
【回転使用する場合】



2 ベースフレームの準備



テーブル幅83cmまたは76cmで使用する場合は、ベースフレームの幅調整部のボルトを6mmの六角レンチを使って外し、穴の位置をずらして調整し、ボルトで固定してください。(4ヶ所)



ⓘ 外した「テーブル拡張部」側の足を縮めてください。

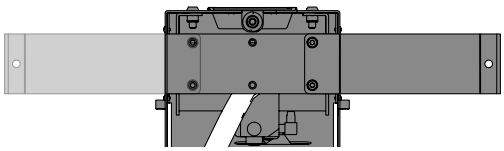
事前準備

3 フットポンプの準備

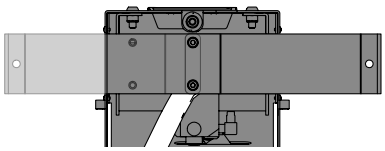
フットポンプの位置、テーブル拡張部の有無に対応した位置に、固定用ブラケットを固定します。

フットポンプ底面

【テーブル拡張部あり】



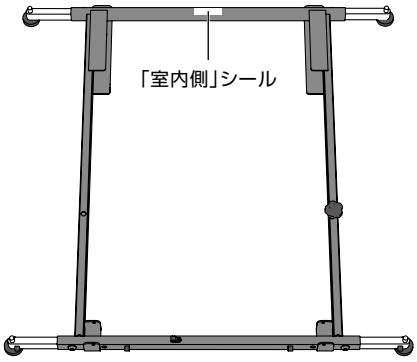
【テーブル拡張部なし】



設置方法

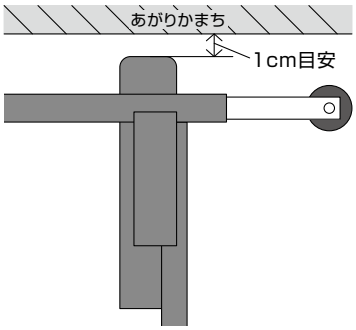
1 フレームを設置します

①「室内側」シールが室内側になるようにベースフレームを置きます。

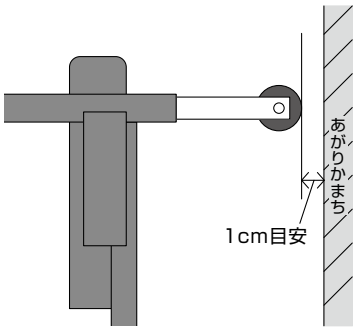


ベースフレームは進行方向のあがりかまちに対して1cm（目安）離して位置を決めます。

【直進使用の場合】

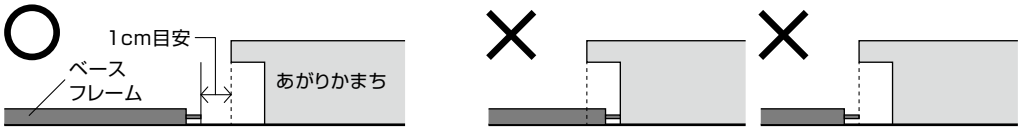


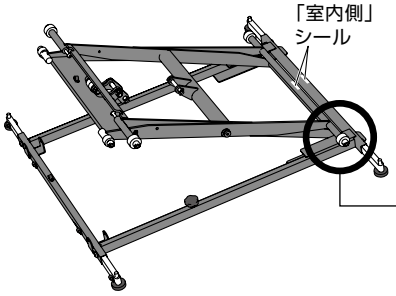
【回転使用の場合】



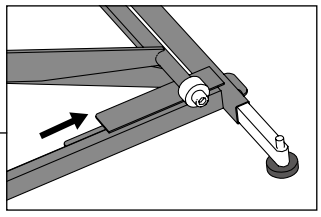
⚠ 注意

あがりかまちの上部が突出している場合は内側に入り込まないように設置してください。



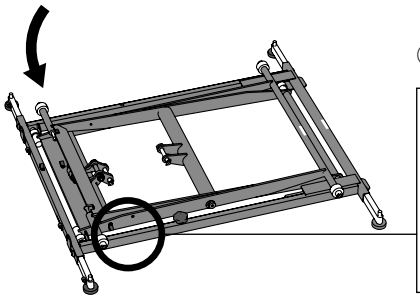


②リンクフレームをベースフレームの上に乗せます。

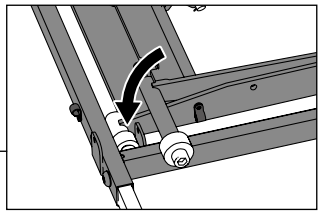


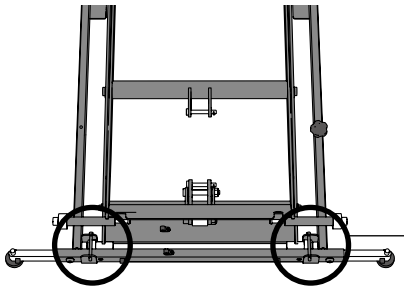
「室内側」シールのある側の溝に内側のローラーを乗せ、奥にスライドさせながらリンクフレームを手前に倒します。

※「室内側」シールを同一方向で合わせてください。

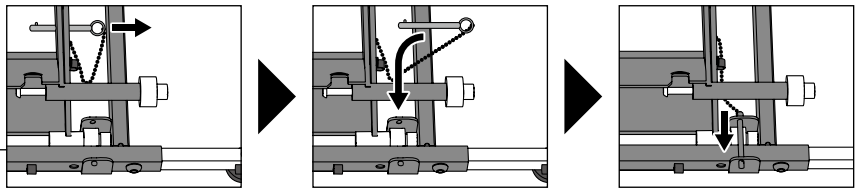


③内側のローラーを両側の溝にはめ込みます。

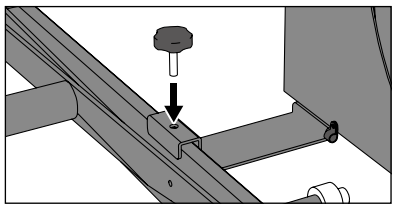




④リンクフレームから固定ピンを外し、フレーム連結用の穴に通して固定します。
（2ヶ所）

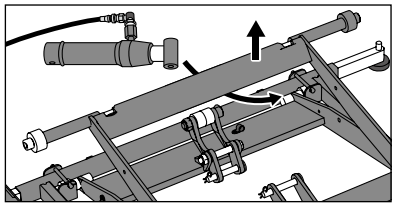


2 フットポンプを取り付けます

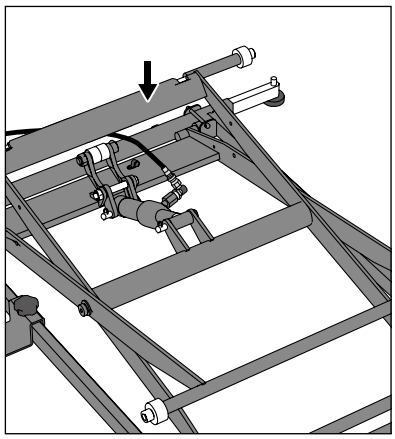


①フットポンプをベースフレームに固定します。

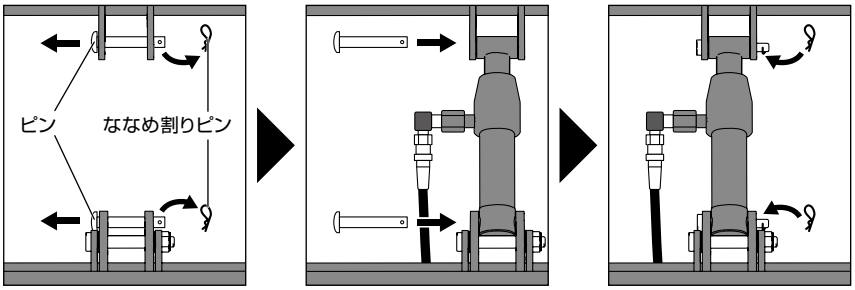
ベースフレームのノブボルトを外し、フットポンプの固定用ブラケットを
ベースフレームの穴に合わせ、ノブボルトを締めて固定します。



②リンクフレームを軽く持ち上げながらフットポンプの油圧シリンダーをベース
フレームとリンクフレームの間に通します。



③リンクフレームを下ろして油圧シリンダーをリンクフレームに取り付けます。

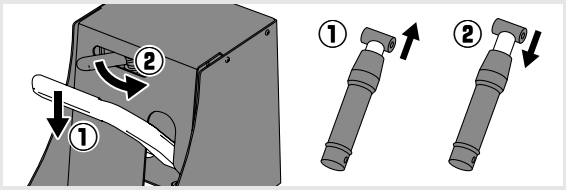


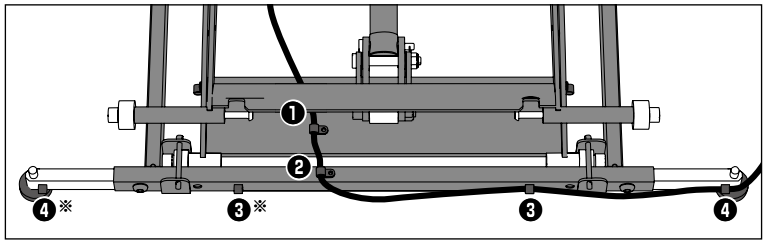
ななめ割りピンを外して
リンクフレームからピン
を抜きます。

油圧シリンダーをリンク
フレームにはめ込み、ピン
を差します。

ななめ割りピンをピンの
穴に通して固定します。

油圧シリンダーの穴とリンクフレームの取付穴が合わない
場合は、以下により穴位置を調整して取り付けてください。
①フットペダルを踏んでシリンダーを伸ばす。
②ロック解除レバーを引きながら力を加えて
油圧シリンダーを縮める





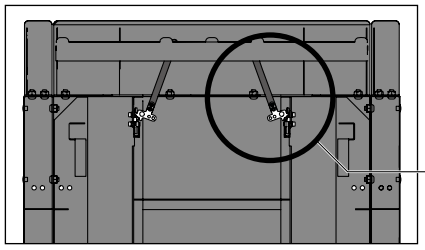
※フットポンプが左側につく場合

④油圧ホースをフック(4ヶ所)に通して固定します。

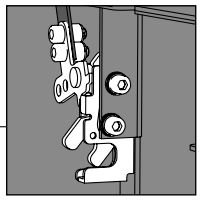
※フットポンプのペダルを3回踏んでリンクフレームを少し上げておくと以後の作業が行い易くなります。

3 テーブルを取り付けます

【ロックが開いている状態】



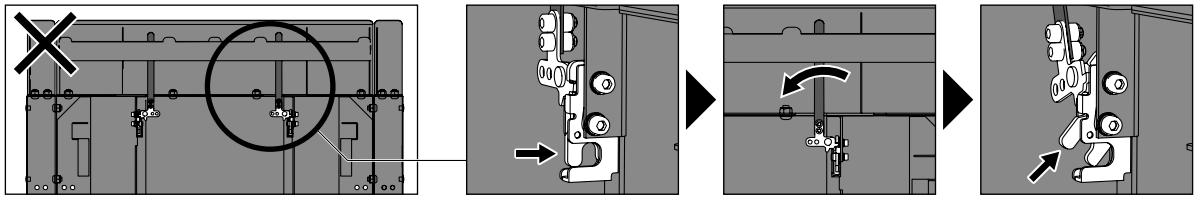
①テーブルロックの確認



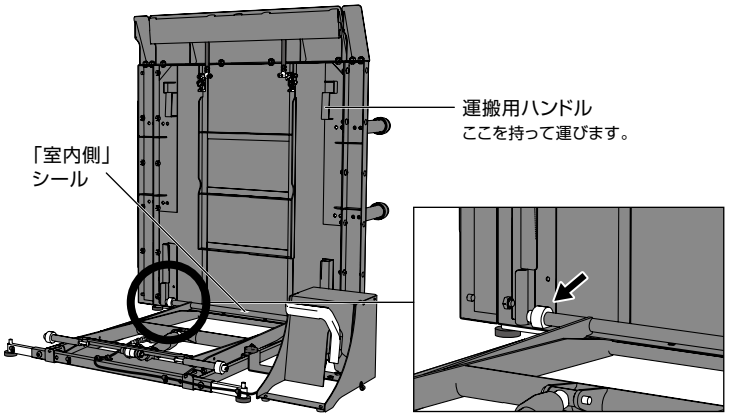
テーブル裏面のロックが開いているか確認します。ロックが閉じた状態の場合は、固定レバーを内側に倒してロックを開けてください。

※ロックが閉じた状態でテーブルを組んでしまうと、テーブルが本体フレームに固定されず大変危険な状態となります。

【ロックが開いていない状態】



固定レバーを内側に倒してロックを開きます。

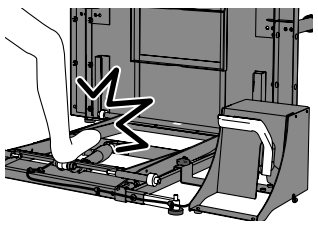


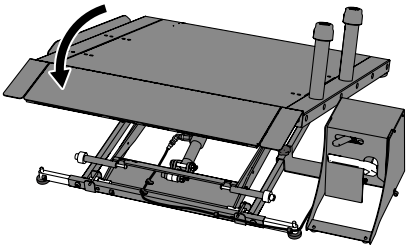
②フットポンプのペダルを3回踏んでリンクフレームを少し上げた状態にし、テーブル裏面の溝にフレームのローラー部分を合わせます。(2ヶ所)

※「室内側」シールを同一方向で合わせてください。

⚠ 注意

テーブルを乗せるときに、フレーム及び油圧シリンダーを踏まないでください。
転倒および製品破損のおそれがあります。



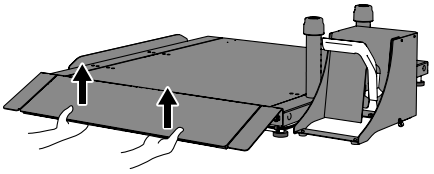


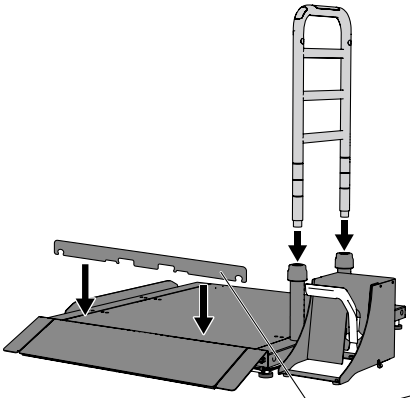
③手前に引っ張りながらゆっくりテーブルをフレームに乗せます。

下ろして手を離すと、自然にテーブルがスライドし、「カチッ」という音がしてロックがかかります。

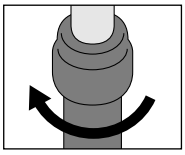
⚠ 警告

テーブルを軽く持ち上げて、ロックがかかっていることを確認してください。
ロックが不完全な場合は、使用中にテーブルが外れ、事故につながるおそれがあります。



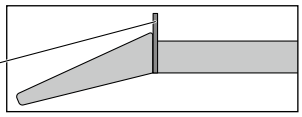


④手すりを取り付けます。



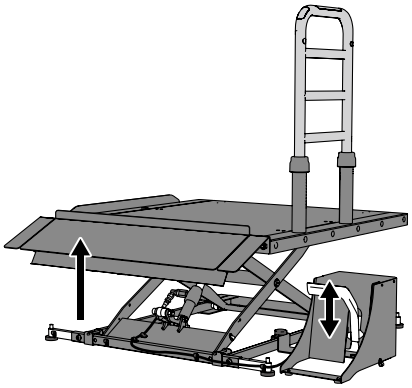
支柱台に手すりをはめ込み、キャップをしめます。

⑤車輪止めプレートを取り付けます。



テーブルと前方傾斜部分の間に差し込みます。
（差し込むだけで固定できます。）

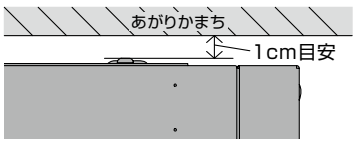
5 設置状態を確認します



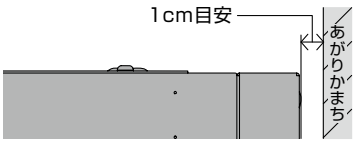
①フットポンプを操作し、上昇･下降がスムーズに行えるか確認します。

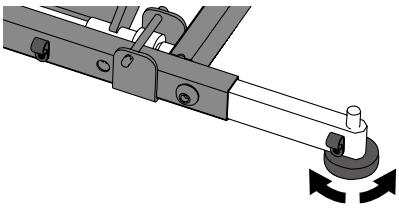
②あがりかまちとの位置関係を確認します。
（すき間1cm目安）

【直進使用の場合】



【回転使用の場合】



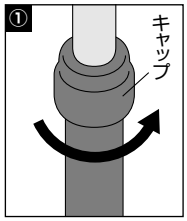


③テーブルが傾いていないか、ガタつきはないか確認します。

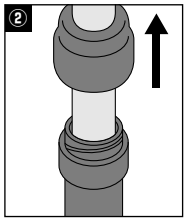
ベースフレームの端にあるアジャスター（4ヶ所）を回して調整してください。

手すり高さ調整方法

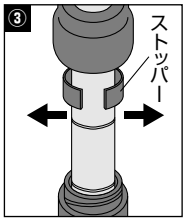
手すりの高さは通常一番低い70cmでのご使用が基本ですが、3段階（70／75／80cm）に設定できます。
以下の手順で設定してください。



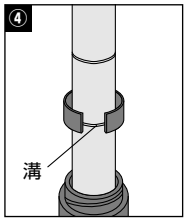
キャップをゆるめます。



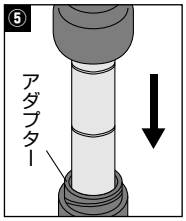
手すりを引き上げます。



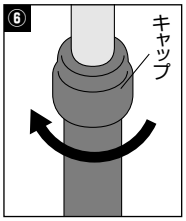
ストッパーを開いて設定します。



溝にストッパーが固定されているか確認します。



手すりを下げ、ストッパーが完全にアダプターに入っているか確認します。



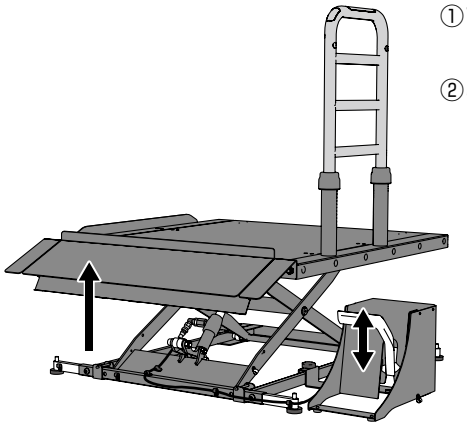
キャップをしめて高さ調整は完了です。必要以上にしめないでください

> ⚠ **警告**　手すりを下げる場合、キャップより下側を持って下げないようにしてください。
> 手すりとアダプターのすき間に指や手をはさみ、ケガをする恐れがあります。

使用方法

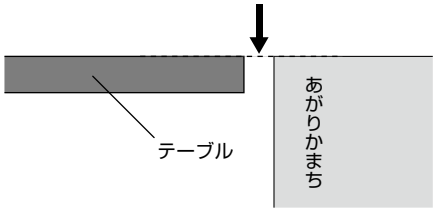
フットポンプの使い方

1　リフトを上げます

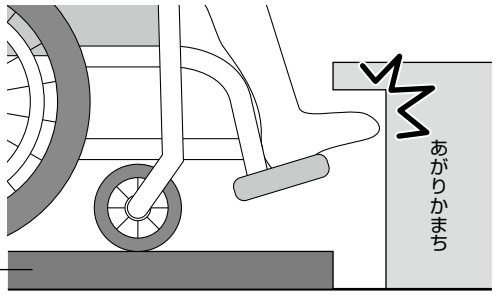


①フットポンプのペダルを踏み込むとリフトが上昇します。

②あがりかまちとテーブルが同じ高さになるように合わせます。

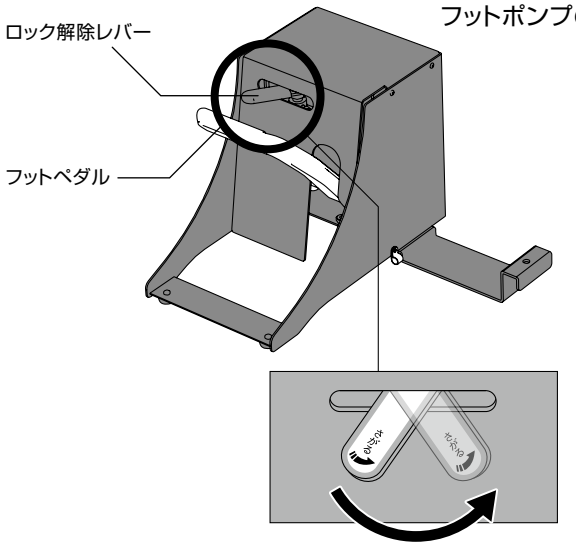


> ⚠ **警告**　あがりかまちの上部が突出している場合は、足先が内側へ入り込まないよう注意してください。
> 上昇時に足をはさみ込み、ケガをするおそれがあります。



使用方法

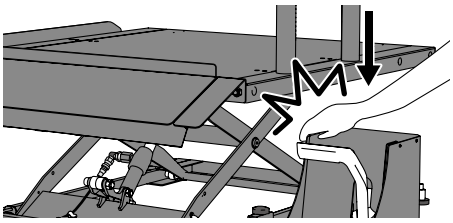
2 リフトを下げます



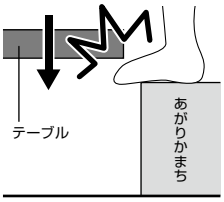
フットポンプのロック解除レバーを右方向に引きます。

⚠ 警告

①テーブルを下げるときはポンプ上面のテーブル側に手や足を置かないでください。
はさみ込んでケガをするおそれがあります。

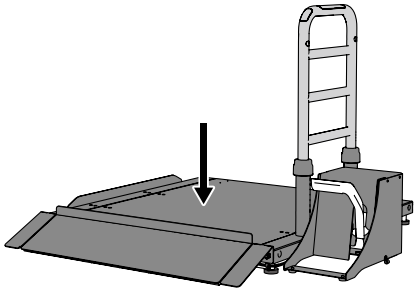


②テーブルをあがりかまちより高く上げた場合は、そのすき間に手や足を入れないでください。
下降時にはさみ込んでケガをするおそれがあります。

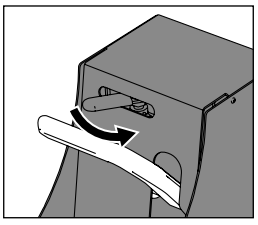


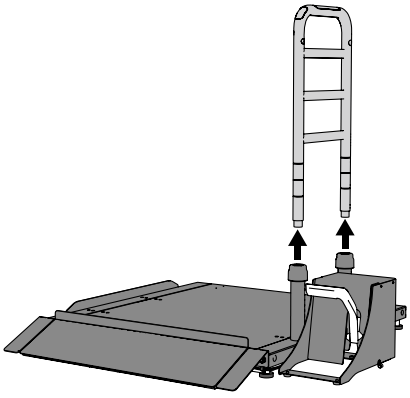
分解方法

1 手すりとテーブルを取り外します。

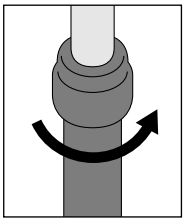


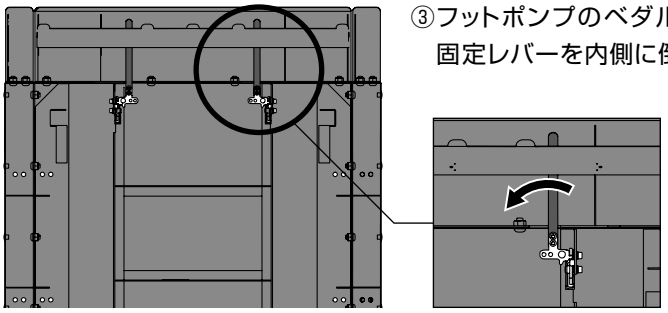
①ロック解除レバーを右方向に引いて、テーブルが床につくまで下げます。



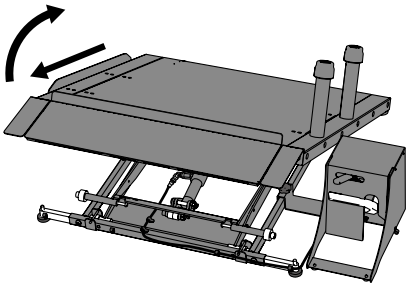


②手すりキャップをゆるめて支柱台から手すりを取り外します。





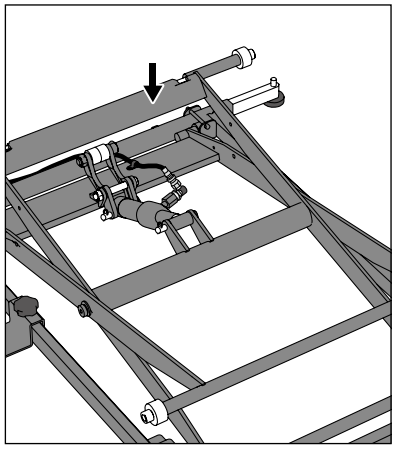
③フットポンプのペダルを3回踏んでテーブルを少し上げ、テーブル裏面の固定レバーを内側に倒しテーブルロックを解除します。



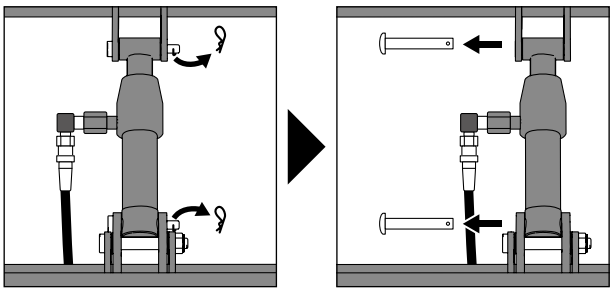
④手前に軽く引っ張りながら押し上げてテーブルを取り外します。

2 フットポンプを取り外します

①再度ロック解除レバーを右方向に引いて、リンクフレームを上から手で押し、完全に下げます。



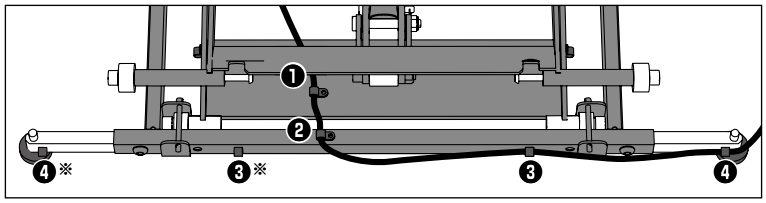
②油圧シリンダーをリンクフレームから取り外します。



ななめ割りピンを
ピンの穴から抜きます。

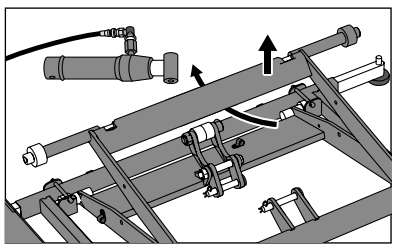
ピンを抜き、油圧シリンダーをリンクフレームから
取り外します。

ⓘ 取り外したピンとななめ割りピンはリンクフレームに取り付けておいてください。

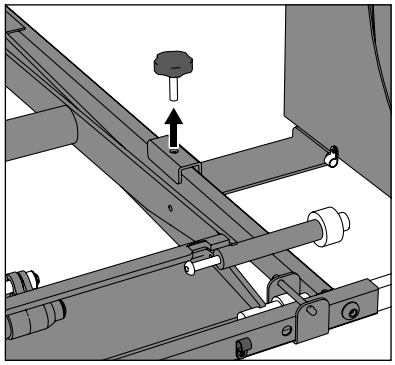


※フットポンプが左側につく場合

③油圧ホースをフックから外します。
（4ヶ所）

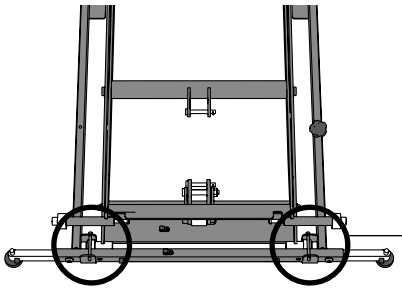


④ポンプの油圧ホースをフレームの間から抜きます。

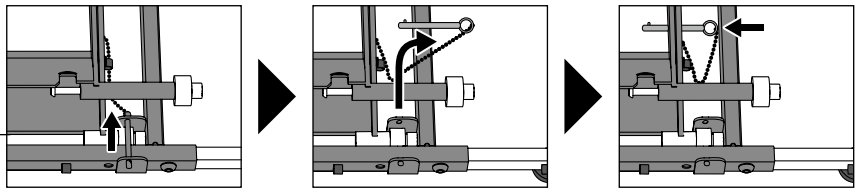


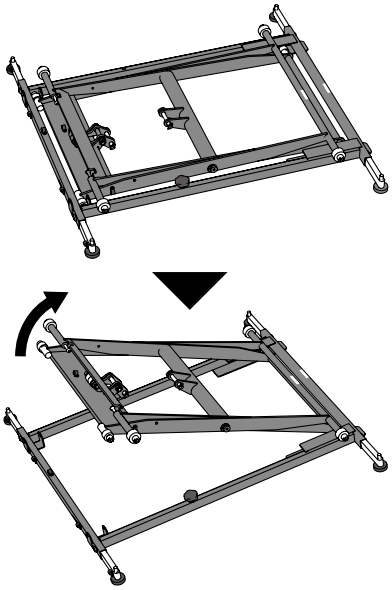
④ノブボルトを外してポンプを取り外します。
外したノブボルトはベースフレームに取り付けてください。

3 フレームを分解します

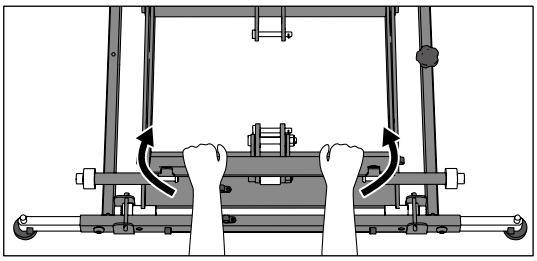


①フレーム連結用の穴から固定ピンを外し、リンクフレームに通して固定します。
（2ヶ所）

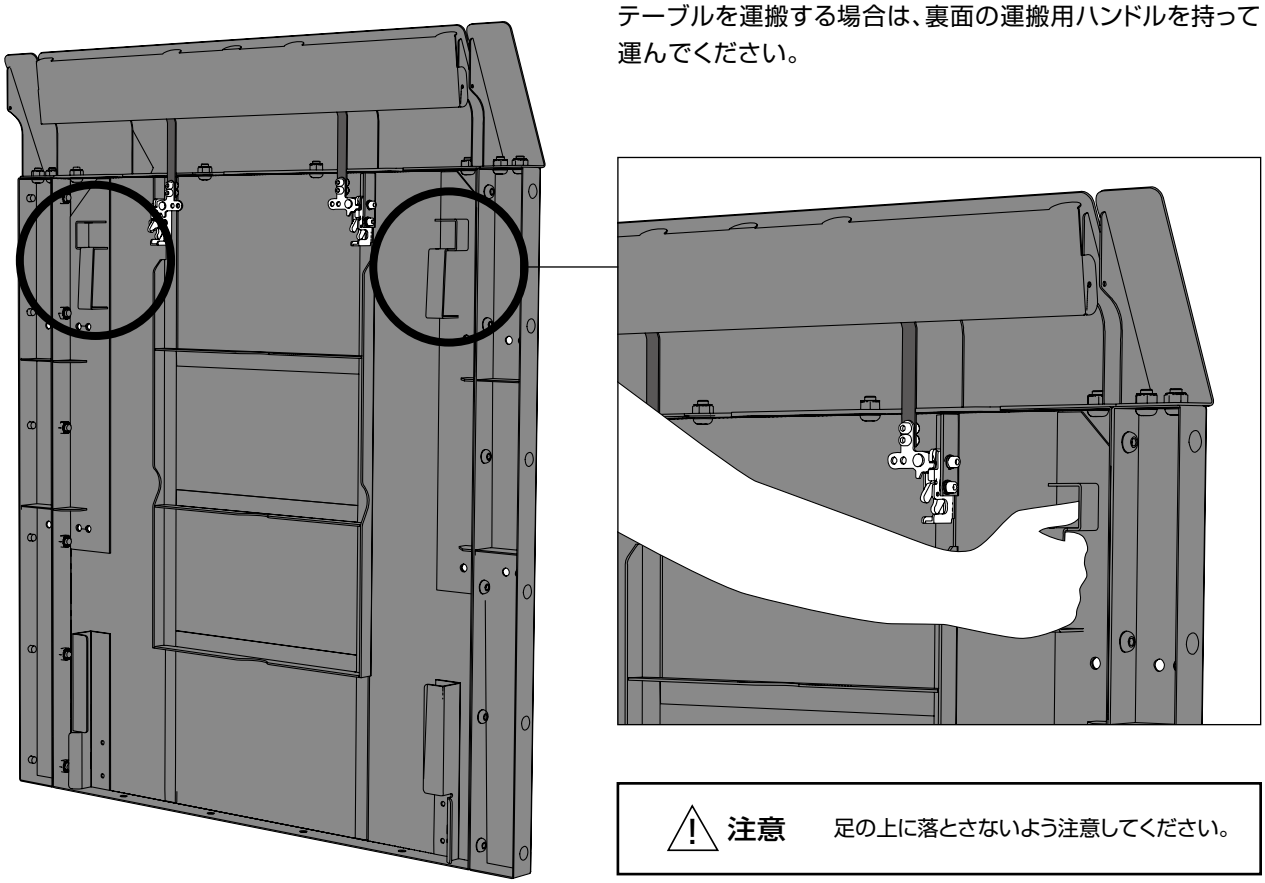




②ベースフレームの手前のフレームを持ち、軽く引きながら持ち上げて外します。



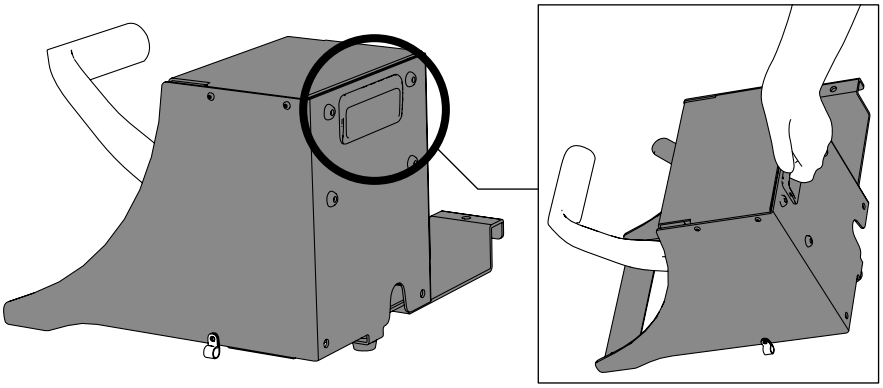
●テーブルの運搬方法



テーブルを運搬する場合は、裏面の運搬用ハンドルを持って運んでください。

⚠ **注意**　足の上に落とさないよう注意してください。

●フットポンプの運搬方法



フットポンプを運搬するときは、裏面の持ち手を持ってください。

●保管方法

長期間にわたり使用しないときは、下記の点にご注意ください。

⃠ 他のものと重ねて置いたり、不安定な状態で立て置き保管はしないでください。
⃠ 重いものを上に載せないでください。（変形の原因になる場合があります）
⃝ 汚れを取り除き、よく乾燥させて保管してください。
⃝ 材質や色が変化するおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。

お手入れ方法

消毒する場合、アルコール消毒剤などを柔らかい布に吹き付けてから清拭してください。
清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。仕上げに乾いた布で拭き取ってください。

- ⃠ 次亜塩素酸を使用する場合、6%水溶液を100～200倍に希釈して清拭し、仕上げに水拭きしてください。
- ⃠ 有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）、強酸性洗剤は使用しないでください。
- ⃠ オゾンガスは金属部分に影響を与えるため、使用しないでください。
- ⃠ 60℃以上の温度を加えないでください。
- ⃠ 金属ブラシ、ナイロンたわしなどはキズをつけるため、使用しないでください。

点検項目

下記の点検項目を確認してください。
異常があった場合、お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部までご相談ください。

点検項目		確認	
1	**テーブルの確認** ・ガタつきはありませんか?	**YES** □	**NO** P10参照
2	**あがりかまちとのすき間の確認（1cm目安）** ・テーブルとあがりかまちが接触していたり、すき間が広すぎたりしていませんか?	**YES** □	**NO** P7、P10参照
3	**動作の確認** ・上昇、下降の動作がスムーズにできますか?	**YES** □	**NO** P10参照
4	**油圧ホースと油圧シリンダーの確認** ・油もれをしていませんか?	**YES** □	**NO**
5	**手すりの確認** ・手すりにガタつきはありませんか?	**YES** □	**NO** P10参照

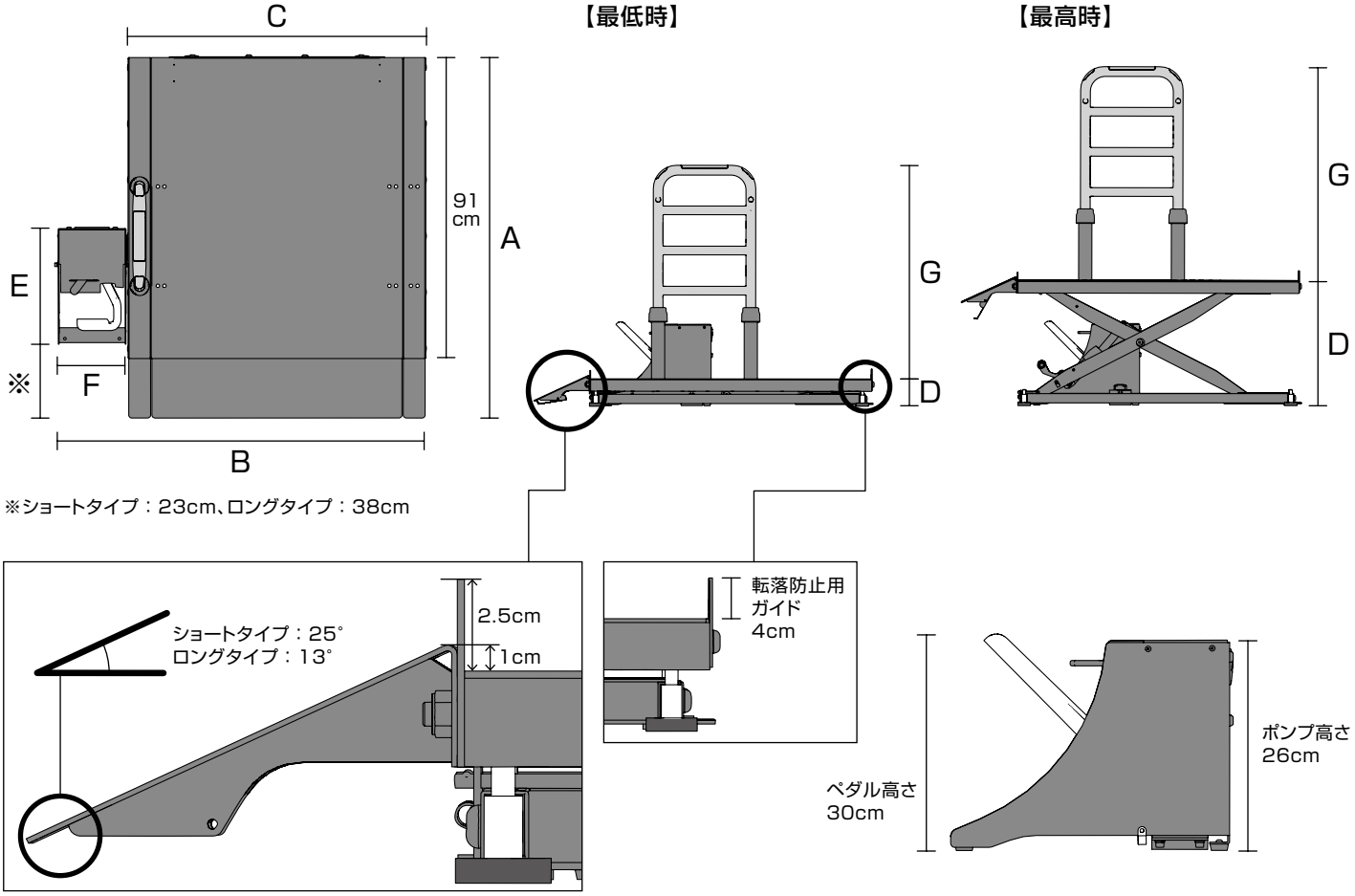
このようなときには

症　状	確　認	処　置
フットポンプの ペダルを踏んでも テーブルが上がらない	油圧シリンダーがリンクフレームに 取り付けられていますか?	油圧シリンダーをリンクフレームに 取り付けてください。(P8参照)
	ロック解除レバーが何かに引っかかって 『下がる』方向へ回ってませんか?	ロック解除レバーを元の位置に 戻してください。
	100kg以上の荷重が かかっていませんか?	上昇可能な最大荷重は100kgまでです。 (保持は150kg)
上昇具合がおかしい (フワフワする)	油圧機構内にエアが入った可能性が あります。	上昇･下降を2～3回繰り返してください。
ロック解除レバーを 引いても テーブルが下がらない	テーブル下側に何か入っていたり、 何かに引っかかっていませんか?	引っかかっているものを取り除いてください。
全体がガタつく	アジャスターが浮いていませんか?	アジャスターが浮かないように 床面につくまで下げてください。(P10参照)

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の症状の場合はお求めの販売店または
㈱モルテン 健康用品事業本部までご相談ください。

【お客様窓口】株式会社 モルテン 健康用品事業本部
TEL(082)842-9975

仕 様



名　称	品　番	サイズ		テーブルサイズ			フットポンプサイズ		手すり部高さ（G）	重量
		全長（A）	全幅（B）	長さ（A）	幅（C）	高さ（D）	長さ（E）	幅（F）		
ショートタイプ	MREALT	110cm	100／107／114cm（3段階調整）	110cm	76／83／90cm（3段階調整）	8～40cm（無段階）	36cm	21cm	70／75／80cm（3段階調整）	62kg
ロングタイプ	MREALTL	125cm		125cm						65kg

リーチ【ショートタイプ】　品番　MREALT

●本体サイズ：最低時＝幅100／107／114（3段階調整）×長さ110×高さ8cm
最高時＝幅100／107／114（3段階調整）×長さ110×高さ40cm
手すり部高さ＝70／75／80cm（3段階調整）
最大耐荷重（保持）＝150kg　　最大上昇荷重＝100kg
●重　　量：62kg
●素　　材：スチール

■2年保証

リーチ【ロングタイプ】　品番　MREALTL

●本体サイズ：最低時＝幅100／107／114（3段階調整）×長さ125×高さ8cm
最高時＝幅100／107／114（3段階調整）×長さ125×高さ40cm
手すり部高さ＝70／75／80cm（3段階調整）
最大耐荷重（保持）＝150kg　　最大上昇荷重＝100kg
●重　　量：65kg
●素　　材：スチール

■2年保証

開発・製造元

株式会社 モルテン
健康用品事業本部
www.molten.co.jp/health
東京　札幌　仙台　名古屋　大阪　広島　福岡
製品他、各種お問い合せは
〒739-1794　広島市安佐北区口田南2-18-12
TEL.082-842-9975
FAX 0120-769-123
E-mail:health@molten.co.jp

※ 健康用品事業本部にて
取得しています。

2015.10